

平成17年度 東オホーツクシーニックバイウェイ 活動報告

- 0. 地域活動報告の概要
- 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
- 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
- 3. 地域及び行政の運営に関する報告
- 4. 審査委員会意見に関する報告

○. ルート運営活動計画に関する地域の報告
 ・地域活動に関する報告(東オホーツクシーニックハイウェイ)

| ルート名称: 東オホーツクシーニックハイウェイ | | | | |
|-------------------------|--|--------------------------------|--------|---|
| | 基本方針 | ルート計画活動内容 | No. | 総括 |
| 景観形成 | オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙) | 小清水原生花園、以久科原生花園の保全(ネナシカズラの除去等) | H - 1 | 世界自然遺産の知床をエリア内に持つ東オホーツクシーニックハイウェイの景観、ビューポイントを活用したツアーを行うとともに、この景観を保全するための活動も実施した。今後は、景観についての共通認識、基礎を学び、より世界に通用する景観形成を目指す。 |
| | | 沿道の一斉清掃活動の実施 | | |
| | | 沿道の植栽活動の実施 | H - 2 | |
| | 鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全) | 網走湖周辺の水芭蕉の保全活動 | | |
| | | 花を見る木道づくりの推進 | | |
| | | 東オホーツクは花カレンダーの作成 | | |
| | ビューポイントを再発見・創出する | 東オホーツク花シンポジウムの実施 | | |
| | | 景観探しツアーの実施 | H - 3 | |
| | | 東オホーツクフォトコンテストの実施 | | |
| | | ビューポイントの再発見及び創出とビューポイントマップづくり | H - 9 | |
| 観光振興 | 風を感じさせるマグネットポイントの創出 | ビューポイントパーキングの拡充と保全 | H - 3 | 冬に行った「大雪原をひとりじめ」のように、農家の閑散期を利用した新しい試みを創出することができた。今後も、普段の観光・旅行ではふれあうことのできない、地元地域の方々とコミュニケーションのとれるメニューづくりを行うと同時に、コミュニティビジネスを視野に入れた企画・運営体制の構築も行っていく。 |
| | | シーニックデッキの創出 | H - 4 | |
| | | 流水茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出 | | |
| | 各地毎の滞在メニューの創出・連携 | サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃 | H - 3 | |
| | | 東オホーツクウォーキングルートの選定とフットパスづくり | | |
| | | ホーストレッキングルートの選定 | H - 10 | |
| | 東オホーツク型観光の研究 | エコツアーの連携や自然探索ツアーの実施 | H - 5 | |
| | | 馬やバルーン景観の研究 | H - 10 | |
| | | 東オホーツクトラベルの研究 | H - 11 | |
| | | 東オホーツク観光塾の創出 | | |
| 地域づくり | 農・水・林・地域文化資源の発掘と連携 | 東オホーツク観光塾の創出 | H - 6 | 世界自然遺産知床の先住民族エコツーリズムシンポジウムをはじめとした、地域の歴史・自然を見つめなおす取り組み、また、今までになかった、地域の資源をまとめたエリアマップの作成を実施することができた。今後は、これらの地域に関する情報を蓄積し、これからの地域づくりを行う次世代への引き継ぎ、育成に関して取り組んでいく。 |
| | | 東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり | | |
| | | 地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施 | H - 3 | |
| | | 地域特産物の販売やPR活動 | | |
| | 楽しみの創出 (東オホーツク文化・ライフの追求) | 先住民族フォーラムの実施 | H - 7 | |
| | | 植林事業等の実施 | | |
| | | 温泉情報マップの作成 | H - 9 | |
| | | 文化施設等との連携による文化発信 | | |
| | | フットパスづくり | | |
| | | オホーツクバーボンの研究 | | |
| 地域連携による地域情報の発信 | 外国人交流の実施と誘致 | | | |
| | オホーツクのオリジナル食メニューの研究 | H - 8 | | |
| | 活動団体向けニュースペーパーの発行 | H - 9 | | |
| | | HPの創出と各町観光情報とのリンク | | |

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

・地域活動に関する報告(東オホーツクシーニックハイウェイ)

| | | |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------|
| ルート名称: 東オホーツクシーニックハイウェイ | 報告者: 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 代表 高谷弘志 | 報告年月: 2006/3/31 |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------|

| | 基本方針 | ルート計画活動内容 | No. | 平成17年度の活動内容 | 活動団体 | 活動実施日 | 成果及び課題 | 総括 |
|------------------|--|--------------------------------|-------|------------------------|----------------------|------------------------|---|--|
| 景 観 形 成 | オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる(美しい沿道の保全・啓蒙) | 小清水原生花園、以久科原生花園の保全(ネナシカズラの除去等) | H - 1 | 小清水原生花園の保全(ネナシカズラの除去等) | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 8月29日(月) | 網走国定公園小清水原生花園風景回復対策協議会の主催で「ネナシカズラの除去作業」を実施。地域の小学生からお年寄りまで参加。次年度も日程等を考慮し、保全活動を行う予定。 | 世界自然遺産の知床をエリア内に持つ東オホーツクシーニックハイウェイの景観、ビューポイントを活用したツアーを行うとともに、この景観を保全するための活動も実施した。今後は、景観についての共通認識、基礎を学び、より世界に通用する景観形成を目指す。 |
| | | 沿道の一斉清掃活動の実施 | | 沿道清掃 | しやりR244沿道景観整備協議会 | 8月7日(日) | 斜里町の一般国道244号も清掃活動を実施。次年度は、他の活動団体との連携を広げ、活動を行う。 | |
| | | 沿道の植栽活動の実施 | H - 2 | ウトロ沿道花の苗植栽 | うとろナチュラルクラブ | 6月19日(日) | ウトロ市街地の沿道に花の苗植栽を実施した。植栽の規模が小さかったため、連携して行うほどではなかったが、事前に実施に関する情報発信は必要だったと思われる。 | |
| | 鮮明な四季の色彩を見せる(花の沿道の創出・連携や植物群生の保全) | 網走湖周辺の水芭蕉の保全活動 | | 網走湖水芭蕉群落保全 | 網走湖・水と緑の会 | 4月29日(金) | 網走湖水芭蕉群落の風倒木(一部分)撤去作業を実施。残りの風倒木については、今後、協議を行いながら進める。 | |
| | | 花を見る木道づくりの推進 | | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | 今後、東オホーツクエリアの花に関する情報収集を行う。 | |
| | | 東オホーツクは花カレンダーの作成 | | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | 今後、東オホーツクエリアの花に関する情報収集を行う。 | |
| | | 東オホーツク花シンポジウムの実施 | | きよさと国際花サミット2005フォーラム | 清里町商工会 | 7月9日(土)~10日(日) | きよさと国際花サミット2005フォーラム実行委員会が中心となり、清里町商工会をはじめ、北海道・北海道開発局・清里町等行政との連携により行われたフォーラム。パネルディスカッション、ガーデニング講習会、ガーデニングツアーが実施された。 | |
| | ビューポイントを再発見・創出する | 景観探しツアーの実施 | H - 3 | ビューポイント探しバスツアー | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 6月4日(土) 10月10日(月・祝) | このツアーは春と秋の2回実施しており、参加者の満足度は高かった。 | |
| | | 東オホーツクフォトコンテストの実施 | | 東オホーツクフォトコンテスト | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 6月4日(土) ~2月28日(火) | 東オホーツクシーニックハイウェイのエリアを対象としたフォトコンテストを開催。道内外から627の作品が応募。入賞作品は、今後、東オホーツクのPR等に用いられる。 | |
| | | ビューポイントの再発見及び創出とビューポイントマップづくり | H - 4 | 東オホーツクシーニックハイウェイマップ | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 6月・9月・2月 | 6月・9月・2月の3回、東オホーツクシーニックハイウェイマップを配布。マップ上にビューポイントを掲載。 | |
| | | ビューポイントパーキングの拡充と保全 | H - 3 | ビューポイント探しバスツアー | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 6月4日(土) 10月10日(月・祝) | このツアーは春と秋の2回実施しており、参加者の満足度は高かった。今後は、このツアー等でビューポイントを創出し、ビューポイントパーキングへとつなげていく予定。 | |

| | | |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------|
| ルート名称: 東オホーツクシーニックハイウェイ | 報告者: 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 代表 高谷弘志 | 報告年月: 2006/3/31 |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------|

| | 基本方針 | ルート計画活動内容 | No. | 平成17年度の活動内容 | 活動団体 | 活動実施日 | 成果及び課題 | 総括 | |
|------|---------------------|-----------------------------|-------|------------------------|-------------------------|------------------------|---|---|--|
| 観光振興 | 風を感じさせるマグネットポイントの創出 | シーニックデッキの創出 | H - 5 | シーニックデッキ | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 6月～10月 | デッキに関しては、観光客はもとより、地域住民の方からの支持が高く、継続的な設置の要望があり実施した。 | 冬に行った「大雪原をひとりじめ」のように、農家の閑散期を利用した新しい試みを創出することができた。今後も、普段の観光・旅行ではふれあうことのできない、地元地域の方々とコミュニケーションのとれるメニューづくりを行うと同時に、コミュニティビジネスを視野に入れた企画・運営体制の構築も行っていく。 | |
| | | 流水茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出 | | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | シーニックデッキの設置までは行ったが、そこを利用した茶屋の創出までは、施設、人、資金の問題で行えなかった。 | | |
| | | サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃 | H - 3 | ビューポイント探しバスツアー | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 6月4日(土) 10月10日(月・祝) | 秋のツアーの際に、サケの遡上ポイントをまわっており、参加者の満足度は高かった。今後、河川の清掃活動も検討。 | | |
| | 各地毎の滞在メニューの創出・連携 | 東オホーツクウォーキングルートの選定とフットパスづくり | | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | 各地域のウォーキングルート、フットパスの情報収集を実施中。今後、これらを利用したウォーキングツアーも計画予定。 | | |
| | | ホーストレッキングルートの選定 | H - 6 | オホーツクホーストレッキングin網走2005 | オホーツクホーストレッキングin網走実行委員会 | 10月1日(土)・2日(日) | ホーストレッキングを実施し、今後のホーストレッキングルートの選定に向けた検討を行った。 | | |
| | | エコツアーの連携や自然探索ツアーの実施 | H - 7 | 大雪原をひとりじめ | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 2月1日(水) ～28日(火) | この企画は、冬期に使用しない農地を利用して、観光客に自由に使用していただく、というもので、参加人数は少なかったが、参加者の評価は高かった。 | | |
| | 東オホーツク型観光の研究 | 馬やパルーン景観の研究 | H - 6 | オホーツクホーストレッキングin網走2005 | オホーツクホーストレッキングin網走実行委員会 | 10月1日(土)・2日(日) | オホーツク公園でんとらんど(網走市)周辺をゆっくりと馬で巡る初心者用コースと、本格的なトレッキングで海・山・森林浴を存分に満喫出来る中・上級者用コースが用意され、初心者から上級者まで皆様に楽しんでいただけただけのホーストレッキングを実施。参加者の方には、馬からの景観を楽しんでいただき、好評だった。 | | |
| | | 東オホーツクトラベルの研究 | H - 8 | 東オホーツク撮影ツアー | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 10月8日(土)・9日(日) | 地元のカメラマンが東オホーツクエリアの撮影ポイントを紹介。今回は、知床の紅葉、サケの遡上、キガラシ・ひまわり畑、湧沸湖の夕景などの撮影をおこなった。46名が参加した。 | | |
| | | 東オホーツク観光塾の創出 | H - 9 | エリアガイド育成事業 | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | - | | 東オホーツクエリアのガイド育成用に教本となるような資料を作成中。今後はこの教本を利用したガイド講習会の開催、ガイドの認定を検討。 |
| | | 東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり | | | | | | | |

| | | |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------|
| ルート名称: 東オホーツクシーニックハイウェイ | 報告者: 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 代表 高谷弘志 | 報告年月: 2006/3/31 |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------|

| | 基本方針 | ルート計画活動内容 | No. | 平成17年度の活動内容 | 活動団体 | 活動実施日 | 成果及び課題 | 総括 |
|-------|-----------------------------|----------------------------|--------|---------------------|----------------------|------------------------|---|--|
| 地域づくり | 農・水・林・地域文化資源の発掘と連携 | 地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施 | H - 3 | ビューポイント探しバスツアー | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 6月4日(土) 10月10日(月・祝) | このツアーをきっかけに、地域資源の洗い出し、再発掘を行った。 | 世界自然遺産知床の先住民エコツーリズムシンポジウムをはじめとした、地域の歴史・自然を見つめなおす取り組み、また、今までになかった、地域の資源をまとめたエリアマップの作成を実施することができた。今後は、これらの地域に関する情報を蓄積し、これからの地域づくりを行う次世代への引き継ぎ、育成に関して取り組んでいく。 |
| | | 地域特産物の販売やPR活動 | | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | 今後、ホームページ等を用いた、特産物の販売・PRの検討を行う。 | |
| | | 先住民フォーラムの実施 | H - 10 | 先住民エコツーリズムシンポジウム | NPO法人知床ナチュラルリスト協会 | 7月1日(金) | 知床での先住民エコツーリズムの可能性について、有識者によるトークセッションを行った。 | |
| | | 植林事業等の実施 | | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | 今後、東オホーツクエリアの植林・植樹について、検討を行う。 | |
| | 楽しみの創出 (東オホーツク文化・ライフの追求) | 温泉情報マップの作成 | H - 4 | 東オホーツクシーニックハイウェイマップ | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 6月・9月・2月 | 2月の東オホーツクシーニックハイウェイマップを「温泉」というテーマで作成し、好評だった。 | |
| | | 文化施設等との連携による文化発信 | | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | 文化施設と連携した形での情報発信について、今後、発信する情報の内容等について検討を行う。 | |
| | | フットパスづくり | | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | 各地域のウォーキングルート、フットパスの情報収集を行っており、今後、新たなフットパスの創出も考慮し、検討する。 | |
| | | オホーツクバーボンの研究 | | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | 今後の中長期的な取り組みとして、オホーツクバーボンまたはそれに類した商品の開発を行う。 | |
| | | 外国人交流の実施と誘致 | | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | 今後、外国人との交流の場を設け、ネットワークの構築を目指す。 | |
| | | オホーツクのオリジナル食メニューの研究 | H - 11 | 「食」のガイドブック | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | 東オホーツクエリアの「食」について、ガイドブックの作成を検討。現在、リストアップができたところで、今後は、映像等の収集・充実が必要。 | |
| | 地域連携による地域情報の発信 | 活動団体向けニュースペーパーの発行 | H - 4 | 東オホーツクシーニックハイウェイマップ | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | 6月・9月・2月 | 6月・9月・2月の3回、東オホーツクシーニックハイウェイマップを情報拠点、道の駅、観光案内所、宿泊施設、レンタカー受付カウンター等で配布。好評だった。 | |
| | | HPの創出と各町観光情報とのリンク | | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 | - | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議のホームページについて、ドメインの取得はできており、近日中に公開予定。 | |

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

・行政の事業に関する報告(東オホーツクシーニックハイウェイ)

| | | |
|-------------------------|-------------------|-----------------|
| ルート名称: 東オホーツクシーニックハイウェイ | 報告者: 東オホーツク行政連絡会議 | 報告年月: 2006/3/31 |
|-------------------------|-------------------|-----------------|

| | 基本方針 | 平成17年度の活動内容 | 活動団体 | 活動実施日 | 成果及び課題 | 総括 |
|------|--|--|---|----------------|---|---|
| 景観形成 | オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙) | 「ビューポイントパーキング」の整備 | 網走開発建設部・女満別町 | 6月25日(土) | 女満別町「メルヘンの丘」に、地域住民とワークショップを行いながら「ビューポイントパーキング」の整備を行った。利用者アンケートの結果、PRや案内に対する要望が多かった。今後、案内版や広報等効果的なPR方法の検討が必要。 | 官民協働により、地域や利用者の満足度が高い道路施設の設置が実現した意義は大きい。「ビューポイントパーキング」は全国展開する「とるぼ」の先例となったこともあり、企画から実施に携わったメンバーの達成感も大きく、地域協働の好事例と判断している。 |
| | 鮮やかな四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全) | きよさと国際花サミット2005フォーラム花と緑にあふれた潤いある街並みと美しい環境の創造をめざす「花と緑と交流のまち 清里町」町全体が花に包まれ、住む人にも訪れる人にも潤いと安らぎを与えることのできる「ふるさと清里町」と「フラワーコミュニティ」のなか、町制施行・町名改称50周年記念事業として、「花大陸Hokkaido」と「シーニックハイウェイ北海道」が連携し、「きよさと国際花サミット2005」を開催した。 | きよさと国際花サミット2005フォーラム実行委員会・清里町商工会・北海道・北海道開発局・清里町 | 7月9日(土)～10日(日) | 地元住民、旅行者(ツアーの方々)も参加され、「花と緑と交流のまち清里町」が広く認知されたとともに、「シーニックハイウェイ北海道」の取り組みも多くの方に知っていただく良い機会となった。一方、東オホーツクシーニックハイウェイとして登録直後の大イベントであり、シーニック活動として捉えた場合、各行政・活動団体の金銭的・人的支援ルール等が見えない中での実施となり、その面では試行的となった。 | このフォーラムは全道展開している「花」をテーマとしたイベント。この時期に女僕中嶋朋子氏を招いて清里町で大々的に開催できたことは、清里町のPRに留まらず、東オホーツクシーニックハイウェイ活動のキックオフとしても極めて有意義だった。 |
| | ビューポイントを再発見・創出する | 「ビューポイントパーキング」の整備 | 網走開発建設部・女満別町 | 6月25日(土) | 女満別町「メルヘンの丘」に、地域住民とワークショップを行いながら「ビューポイントパーキング」の整備を行った。利用者アンケートの結果、PRや案内に対する要望が多かった。今後、案内版や広報等効果的なPR方法の検討が必要。 | 官民協働により、地域や利用者の満足度が高い道路施設の設置が実現した意義は大きい。「ビューポイントパーキング」は全国展開する「とるぼ」の先例となったこともあり、企画から実施に携わったメンバーの達成感も大きく、地域協働の好事例と判断している。 |
| 観光振興 | 風を感じさせるマグネットポイントの創出 | 「ビューポイントパーキング」の整備 | 網走開発建設部・女満別町 | 6月25日(土) | 女満別町「メルヘンの丘」に、地域住民とワークショップを行いながら「ビューポイントパーキング」の整備を行った。利用者アンケートの結果、PRや案内に対する要望が多かった。今後、案内版や広報等効果的なPR方法の検討が必要。 | 官民協働により、地域や利用者の満足度が高い道路施設の設置が実現した意義は大きい。「ビューポイントパーキング」は全国展開する「とるぼ」の先例となったこともあり、企画から実施に携わったメンバーの達成感も大きく、地域協働の好事例と判断している。 |
| | 各地毎の滞在メニューの創出・連携 | | | | | |
| | 東オホーツク型観光の研究 | | | | | |

| | | | | | | |
|-------|-----------------------------|--|---------|-----|---|--|
| 地域づくり | 農・水・林・地域文化資源の発掘と連携 | | | | | |
| | 楽しみの創出 (東オホーツク文化・ライフの追求) | | | | | |
| | 地域連携による地域情報の発信 | 東オホーツクシーニックバイウェイルートにある道路電光掲示板に「東オホーツクシーニックバイウェイルート」を表示 | 網走開発建設部 | 9月～ | シーニックルートの周知はHPやMAPでされるが、それを見聞していないドライバーへのルートPR・案内方法が不足している。これを改善する一歩となった。 一方、電光掲示板によるルート表示のユーザー満足度が把握できていないのが課題。満足度評価をどう実施するか今後検討の必要あり。 また、表示は国道のみであり、町道や道道との連携に向けて検討の余地あり。 | 取り組みとしては(満足度評価はできていないとはいえ)、ユーザーにとって負の要因はないと考えられる。 この取り組みを行ったこと自体、マスコミにも取り上げられ、それだけでもPR効果はあった。 今後、電光掲示板以外の現地案内方法について、町道・道道との連携含め、検討する必要がある。 |

3. 地域及び行政の運営に関する報告

・東オホーツクシーニックハイウェイ

| | | |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------|
| ルート名称: 東オホーツクシーニックハイウェイ | 報告者: 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議 代表 高谷弘志 | 報告年月: 2006/3/31 |
|-------------------------|-----------------------------------|-----------------|

| | 基本方針 | 具体の取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 備考 |
|---------------------|-----------------|--------------------------------------|-----------------|--------|-------|----|--------|----|-----|---------|---------|--------|--------|--------|------|
| 地域の運営 に関わる事 項 | 構成団体・活動理解 促進 | 総会の開催 | | ●5月20日 | | | | | | | ●12月20日 | | | ●3月17日 | |
| | | 幹事会の開催 | ●4月20日 | ●5月13日 | | | ●8月12日 | | | ●11月29日 | | | | ●3月9日 | |
| | | 役員会の開催 | ●4月7日 ●4月14日 | ●5月12日 | | | ●7月20日 | | | ●11月15日 | | | ●2月20日 | | |
| | 分科会活動の試行 | 分科会の開催 | | | ●6月4日 | | | | | | | ●1月20日 | | ●3月1日 | |
| | 事務局体制のスタート | NPO法人東オホーツクシーニックハイウェイサポートセンター(仮称)の設立 | | | | | | | | | | | | 検討・調整 | 申請準備 |

| | | |
|-------------------------|-----------------------------|-----------------|
| ルート名称: 東オホーツクシーニックハイウェイ | 報告者: 東オホーツクシーニックハイウェイ行政連絡会議 | 報告年月: 2006/3/20 |
|-------------------------|-----------------------------|-----------------|

| | 基本方針 | 具体の取り組み | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 備考 |
|---------------------|-----------|---------|----|----|--------------|----|----|--------------|-----|--------|-----|----|--------------|--------|----|
| 行政の運営 に関わる事 項 | 行政連絡会議の実施 | | | | | | | | | ●11月2日 | | | | ●3月22日 | |
| | 集中活動月間 | | | | 6月集中活動月 ↔ | | | 9月集中活動月 ↔ | | | | | 2月集中活動月 ↔ | | |

4. 審査委員会意見に関する報告

・東オホーツクシーニックハイウェイ

| | | |
|-------------------------|--|-----------------|
| ルート名称: 東オホーツクシーニックハイウェイ | 報告者: 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議、東オホーツクシーニックハイウェイ行政連絡会議 | 報告年月: 2006/3/31 |
|-------------------------|--|-----------------|

| | | 東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議の報告 | 東オホーツクシーニックハイウェイ行政連絡会議の報告 | 備考 |
|--|---|--|--|----|
| シーニックハイウェイルート全体に対する意見 | 景観への取り組み: 景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出 | 地域の隠れたビューポイントをめぐるバスツアー「ビューポイント探し景観バスツアー」を実施 | ビューポイントパーキングの整備 | |
| | 持続性の確保: 参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用 | 各分野の有識者を招いてのフォーラムやシンポジウムを開催 | | |
| | 地域特性の活用: 北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保 | エリアガイド育成の一環として「オホーツク百話(仮称)」を作成中 | | |
| | ホスピタリティ向上: 研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成 | 「観光とユニバーサルデザイン」というタイトルで講演会を実施 | | |
| | 全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携 | テレビ番組やブロードバンドテレビに東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議のメンバーが出演し、地域の魅力ある情報を発信 | | |
| | 開かれた運営体制: 継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働 | 新規登録希望活動団体向けに「説明会」を実施予定 | | |
| | 既存観光地からの脱却を目指し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツアーリズムの展開に向けた取り組みの実施 | 冬期には訪れることが困難な「神の子池」にかんじきを履いて訪れるツアー。普段使われない雪原を観光客に自由に使っていただく「大雪原をひとりじめ」という企画を実施 | | |
| | 東オホーツクシーニックハイウェイに対する意見 | 広域的な連携・協働を行う場合、当エリアに存在する農山村、漁村、観光地などの個性ある地域、資源、人材の連携には十分な議論と工夫が必要である。 | 地域の様々な活動団体(サイクリングの会、歩く会、大学など)との連携による、新たなエコツアーの実験を実施。冬期に使用しない農地を利用して、観光客に自由に使っていただく、「大雪原をひとりじめ」という企画を実施(参加者は農家の方のおもてなしが受けられる) | |
| 参加団体が多いことから、ルート運営活動計画の趣旨を幅広く共有できる取り組みが必要である。 | | 現在作成中の東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議ホームページを活用した情報共有システムの検討を行う | | |

東オホーツクシーニックバイウェイ

H-1

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『小清水原生花園の保全(ネナシカズラの除去等)』

- 【内 容】 小清水原生花園に「花が美しく咲き乱れる風景」の回復を図るため、東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議メンバーがナシカズラやヨモギの除去作業を行った。
- 【主 催】 網走国定公園小清水原生花園風景回復対策協議会
- 【実施場所】 小清水原生花園の東部
- 【実施日】 8月29日(月)



東オホーツクシーニックバイウェイ

H-2

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『ウトロ沿道花の苗植栽』

- 【内 容】 知床峠の玄関となるウトロ市街地にて、うとろナチュラルクラブを中心に地元住民の方々、東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議メンバーが、沿道の花壇に花の苗の植栽を行った。
- 【活動団体】 うとろナチュラルクラブ
- 【実施日】 6月19日(日)



東オホーツクシーニックバイウェイ

H-3

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『ビューポイント探し景観バスツアー』

- 【内 容】 各地域の方がガイド役となり、景観の良いポイントや残念な景観のポイントを参加者に見て頂き、アンケートを実施。バスツアー終了後、ワークショップを行い、本日回ったポイントについて意見交換。
- 【主 催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【実施日】 6月4日(土)
- 【参加者】 30名



東オホーツクシーニックバイウェイ

H-4

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『東オホーツクシーニックバイウェイMAP』

- 【内 容】 3回の集中活動月間にあわせ、東オホーツクシーニックバイウェイのマップを作成、配布。掲載内容は、シーニックデッキの情報、情報拠点の情報、シーニックポイントの情報、景観の良いお店の情報、イベントの情報、活動団体の紹介など。また、9月は「食」、2月は「温泉」をテーマに東オホーツクのおすすめ店、温泉を特集。
- 【配布部数】 20,000部(6月) 40,000部(9月) 45,000部(12月)
- 【配布場所】 情報拠点、道の駅、観光案内所、宿泊施設、レンタカー受付カウンターなど



東オホーツクシーニックバイウェイ

H-5

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『シーニックデッキ』

- 【内 容】 東オホーツクエリアの景観の優れたビューポイントにデッキを設置し訪れる観光客や地元の方に、景観を楽しんでいただける場を提供。
- 【設置場所】 網走原生牧場観光センター(網走市)、藻琴山山荘(大空町)、じゃがいも街道(い清水町)、清岳荘(清里町)、季風クラブ知床(斜里町)
- 【設置期間】 6月から降雪まで



東オホーツクシーニックバイウェイ

H-6

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『オホーツクホーストレッキングin網走2005』

- 【内 容】 オホーツク公園てんどらんど(網走市)周辺をゆっくりと馬で巡る初心者用コースと、本格的なトレッキングで海・山・森林浴を存分に満喫出来る中・上級者用コースが用意され、初心者から上級者まで皆様に楽しんでいただけるホーストレッキング。
- 【主 催】 オホーツクホーストレッキングin網走実行委員会
- 【実施日】 10月1日(土)・2日(日)
- 【参加者】 30名



東オホーツクシーニックバイウェイ

H-7

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『大雪原をひとりじめ』

- 【内 容】 誰の足跡もない、まっさらな大雪原を、あなただけに！！
知床・東オホーツクの1,000坪の雪原が1日使い放題。旅人の皆さんと地元民がふれあえるひと時があり、寒くなったら、農家の暖かい部屋で、暖かい飲み物などが用意されている。
- 【主 催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【実施場所】 東オホーツク
- 【実施日】 2月1日(水)～2月28日(火)



東オホーツクシーニックバイウェイ

H-8

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『東オホーツク撮影ツアー』

- 【内 容】 地元のカメラマンが東オホーツクエリアの撮影ポイントを紹介。今回は、知床の紅葉、サケの遡上、キガラシ・ひまわり畑、清沸湖の夕景などの撮影をおこなった。
- 【主 催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【実施日】 10月8日(土)・9日(日)
- 【参加者】 46名



東オホーツクシーニックバイウェイ

H-9

『エリアガイド育成事業』

【内 容】 東オホーツクエリアのガイド育成用に教本となる基礎データを収集中。今後、この教本を使用する講習会開催も検討中。



東オホーツクシーニックバイウェイ

H-10

『シレットコのセラ(風)を聴く～先住民族エコツーリズム』
世界遺産記念シンポジウム

【内 容】 石井ボンベ氏のトンコリやムックリの演奏。知床での先住民族ツーリズムの可能性について、石井ボンベ氏、小野有五氏、結城幸司氏、藤崎達也氏、お客様によるトークセッション。先住民族によるエコツアー。

【主 催】 NPO SHINRA、シレットコ先住民族エコツーリズム研究会(SIPETR)

【実施日】 7月1日(金)シンポジウム、3日(日)モデルツアー

【参加者】 50名(シンポジウム)、10名(モデルツアー)



東オホーツクシーニックバイウェイ

H-11

『「食」のガイドブック』

【内 容】 東オホーツクエリアにある、地元の方おすすめの食材、料理、お店を紹介するガイドブックを作成中。今後、このガイドブックをポケットブックとして、販売も検討。

